

琉球大学学術リポジトリ

南洋廳ヤップ醫院「醫務概況」

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38057

矢内原忠雄文庫

史料名	南洋廳ヤップ醫院「醫務概況」昭和八年六月十日
封筒番号	199
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成17年11月10日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

マイクロ写真撮影訂正票

訂正の理由	撮影操作誤りの為
訂正結果	直前の <input checked="" type="checkbox"/> コマ取消 <input checked="" type="checkbox"/> コマ再撮影
訂正年月日	平成 17 年 11 月 10 日
このフィルムは上記の理由で取消、又は再撮影し訂正しました。	
撮影責任者	富士写真フイルム株式会社 桃園 芳朗

矢内原忠雄文庫

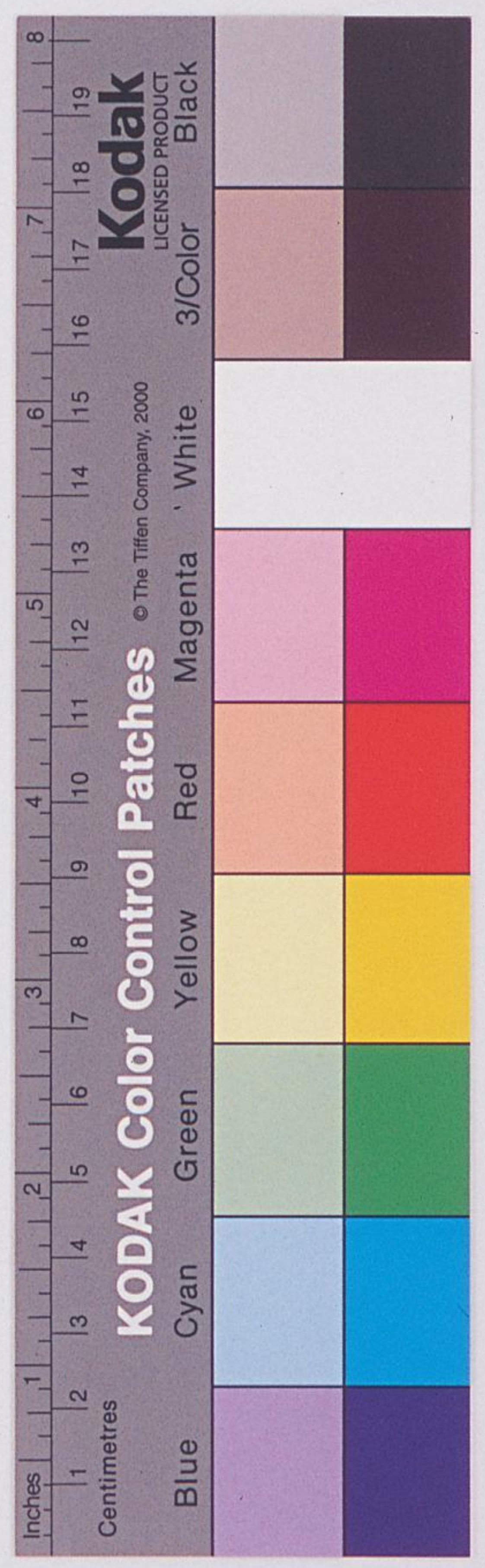
史料名	南洋廳ヤップ醫院「醫務概況」昭和八年六月十日
封筒番号	199
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 10 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

498
NA

昭和八年六月十日

疫
務
概
況

南洋廳
マツプ
醫院



1/12

ワシノ島本島々民カナ族出生數ト死亡數ト關係

年別	西曆	出生數	死亡數	比較減備	考
大正 五 年	一九一六	七五	一六一	八六	
大正 六 年	一九一七	九三	二〇四	一一一	
大正 七 年	一九一八	八二	一六一	七九	
大正 八 年	一九一九	一一〇	二三一	一二一	
大正 九 年	一九二〇	六二	一七九	一一七	
大正 拾 年	一九二一	六六	二一八	一五二	
大正 拾壹 年	一九二二	七二	二一六	一四四	
大正 拾貳 年	一九二三	五三	一八五	一三二	
大正 拾參 年	一九二四	四八	一七三	一二五	
大正 拾四年	一九二五	七九	三四六	二六七	
昭和 元 年	一九二六	八〇	二七七	一九七	
昭和 貳 年	一九二七	八四	二〇二	一一八	
昭和 參 年	一九二八	六八	一七二	一〇四	
昭和 四 年	一九二九	七九	一九五	一一六	
昭和 五 年	一九三〇	五九	一六七	一〇八	
昭和 六 年	一九三一	八五	一四五	六〇	
昭和 七 年	一九三二	八〇	一三五	五五	
拾七年間合計		一二七五	三三六七	二〇九二	
平均		七五	一九八	一二三	

ヤップ島本島々民カナカ族健康調査

昭和五年度より同六年四月ニ至ル調査

ヤップ島本島々民総人員

三九九六名

健康調査終了人員

三七八七名

健康者人員

一〇九一名

事故不参考者

二〇九名

疾患者

二六九六名

肺	結核	一九二	腺	結核	二一六
腸	結核	七	腹膜	結核	二〇
骨	結核	二〇	脊椎骨	結核	四〇
關節	結核	一三			
其他ノ疾患					
頸脈腫脈	四三	癩	病	一四	
慢性気管支炎	二七七	フランベレ	了	一五八	
漏	二〇				
脚刺列	十一例	結核性患者数			

結核(慢性傳染病) 五〇八名

マツノ島本島カカ族肺結核ニ因ル死亡者年表

歴年度	昭和七年	昭和六年	昭和五年	昭和四年
呼吸器疾患者	一	三	二	一
肺結核者	三	三	五	二
其ノ百分率	七〇	六〇	七〇	八〇
肺結核死亡者	五	五	三	二
其ノ百分率	四〇	九〇	一〇〇	七〇
結核死亡者	四	六	一〇	一六
其ノ百分率	一〇	四〇	八〇	一〇〇
計	三〇	七〇	八〇	八三

マツノ醫院外未患者數ト死亡數トノ關係 (マツノ島本島カカ族)

歴年度	昭和七年	昭和六年	昭和五年	昭和四年
呼吸器疾患者	四六	六三	一一三	七〇
肺結核者	五六	一八八	四七二	三三四
其ノ百分率	一三〇	二九〇	四二〇	四八三
肺結核死亡者	五六	一八八	四七二	三三四
其ノ百分率	三〇	七〇	八〇	八三
結核死亡者	〇	〇	〇	〇
其ノ百分率	五三	三七	一七	四八

ツノ島本島の民カ方族一歳未満嬰兒死亡数

生年月日	昭和四年	昭和五年	昭和六年	昭和七年	備考
一月一日	四	五	〇	二	
二月一日	二	一	一	三	
三月一日	五	〇	二	一	
四月一日	四	一	一	〇	
五月一日	二	二	一	一	
六月一日	一	二	〇	〇	
七月一日	〇	〇	二	二	
八月一日	〇	〇	〇	一	
九月一日	一	一	一	二	
十月一日	〇	一	二	〇	

計	上旬	中旬	下旬	合計
一九五	一	二	〇	一三五
一九七	二	〇	一	一三五
〇、一六三	一	〇	〇	〇、〇九六
〇、一〇一	二	〇	〇	〇、〇九六
〇、〇六八	〇	〇	〇	〇、〇九六

ツノ島本島の民カ方族年度別總死亡数及百分率

年度	總死亡数	肺結核死亡数	百分率
昭和四年	一九五	八三	〇、四二五
昭和五年	一六七	八〇	〇、四七九
昭和六年	一四五	七〇	〇、四八二
昭和七年	一三五	七〇	〇、五一五

昭和三年度	昭和四年度	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	暦年/月別
六	一四	一六	一八	二〇	1月
八	九	二	三	四	2月
一〇	一五	一八	二一	二四	3月
一二	一七	二〇	二三	二六	4月
一五	一八	二一	二四	二七	5月
一〇	一三	一六	一九	二二	6月
一〇	一二	一五	一八	二一	7月
一六	九	一六	二四	三二	8月
一三	一四	一七	二〇	二三	9月
一一	一七	二〇	二三	二六	10月
一二	一五	一八	二一	二四	11月
一二	一五	一八	二一	二四	12月
一三五	一四五	一五七	一六五	一七三	計

昭和四、五、六、七年度ニ於ケル總死亡月別表

昭和七年	昭和六年	昭和五年	昭和四年	暦年度
一三五	一四五	一六七	一九五	總死亡數
三〇	七〇	八〇	八三	肺結核
0.222	0.482	0.679	0.425	核消化不良症
一四	九	一四	一五	慢性氣管炎
0.076	0.283	0.662	0.163	慢性氣管炎
三四	三三	三〇	四	計
0.026	0.179	0.227	0.251	

但シ昭和四年ヨリ同七年迄

歴年度總死亡數ト主ナル病類別

ワノ島本島の民カナ族性病者數

被検査人員數

男 一三五二人
女 一二〇二人

計 二三五四人

性病者

男 三一二二人
女 四七二人

計 七八四人

被検査人員數ト性病者トノ比

性病者罹患率 三三、三%

	男	女	計
被検査人員數	一三五二人	一二〇二人	二三五四人
性病者數	三一二二人	四七二人	七八四人
百分率	二四、九%	四六、八%	三三、三%

ヤブ島本島々民カナリ族性病検査成績表

男女総數 三〇八一人
 男 一七二七人
 女 一三五四人

男子之部

検査終了者數	急性淋毒尿道炎	慢性淋毒尿道炎	淋毒性辜丸炎	副辜丸硬結の有スルモノ	高度包莖(要手術)	既往淋疾	既往辜丸炎及副辜丸炎の有セルモノ	既婚者	子持者	既婚者ト子持者之比
一、二九〇人	一七人	二八五人	五人	一七〇人	四九人	一〇一人	二七五人	八一九人	五二七人	六四三%
二三、七%	一三%	二六、一%	〇、三%	一三、一%	三、八%	四七、四%	二一、三%	六三、四%		

高本島々民カナ族性病検査成績表

女子之部

被検査人員數	一〇五五人	
性病者	四八〇人	四五五%
急性淋毒性尿道炎	一六人	
慢性淋毒性尿道炎	一〇五人	
淋毒性陰門體炎	一五人	
淋毒性バルトリン腺炎	七人	
淋毒性子宮頸管加答兒	一〇人	
淋毒性子宮體及底膜炎	二六人	
淋毒性膀胱炎	一人	
既往淋疾	五七八人	五四八%

既婚者	八〇九人	七六六%
既婚者八〇九人中妊娠口ナルモノ	二八〇人	三四六%
未婚者	五二六人	四九八%
未婚婦五二六人中未婚者	二四六人	
一回以上妊娠ニタルコトアルモノ	五二九人	
既婚者八〇九人ニ對スル比例	五三九ニ對スル八九比	六五、三%
妊娠回数	一三四四人	
一人宛妊娠回数	二五回	
出産回数(一、三四四)	一三四四	
早流産回数	七四	
一歳未満死亡者數	一六六人	死亡率一三、〇%

ヤツブ島本島々民カチカ族性検査数性別

検査年齢 男 女 婦 幼 婦 幼 婦 幼

管区名	男	女	計
ギリベス	二一三	一四一	三五四
オカオ	一四五	一〇七	二五二
ウレル	二八二	二二九	五一一
カニフ	一一一	七七	一八八

管区名	男	女	計
ニフ	一一五	八八	二〇三
グロール	一〇一	八九	一九〇
ルモン	七六	七二	一四八
マツプ	一九六	一六三	三五九
ウギリ	二三八	一八八	四六六
トミル	二六〇	二〇〇	四六〇
総計	一七三七	一三五四	三〇八一

ツツノ支廳管内公学校児童男子性病検査成績

病名	年齢	被検査人員	性交経験者	性病患者	急性尿道炎	慢性尿道炎	血毒丸下降不全	坐丸疾病者	龟头炎
	8	14	9						
	9	2	1						
	10	4	3		1			1	
	11	4	3		1				
	12	3	2						
	13	3	2		1		1	1	1
	14	3	2		1		1		
	15	5	4						
	16	4	3		2	1			
	17	1	1						
	19	1	1						
計		35	24	5	3	1	2	2	2

検査人員
35人
61%

高度包茎	横痃既往症	淋疾既往症	サルバサン回数	アガリ性尿	酸性尿	中性尿	濁尿
1			5	3		1	1
	1	1	7	2			
1	4	1	14	4		2	2
5	9	2	18	3	1		2
3	5		13	1	1	4	4
7	5		13	4	8	1	4
2	3	2	19	2	6		2
1	1	1	10	3			
	1	3	15	9	4	1	
	1	1	10	1			
1			1	1			
21	26	11	46	20	10	3	16

月経アトマ	漏濁尿	アルカリ性尿	酸性尿	其他疹新生物	白帶下	サバルサン回数	サバルサン回数	既往淋疾	處女膜完全	處女膜破
		五	一			五	五		四	一
		七				一	一	一	五	
	四	三〇	三	一		六	四三	三	二	三
	二	三〇	四			二四	七〇	三	八	七
一	一	一九	二		四	一九	五三	四	八	五
一	三	一六	二			一三	二八	三	六	五
一		八			一	七	一五		二	一
		八				七	一五		二	二
		一				一	三	一		
三	百	一八	二	一	五	一九四	三三三	一四	六	二四

處女膜不完全	外陰部裂傷	外陰部ベシヤ	淋毒性膣炎	淋毒性陰門炎	慢性尿道炎	急性尿道炎	性病患者数	性交経験者数	被検査人数	年令
一				一			一	二	六	八
二								四	七	九
一		一		三			三	三	三	10
一	一	一		四			三	三	三	11
八			三	一						12
七				一						13
六			一	一		一	二	六	八	14
四								七	八	15
										17
一					一		一	一	一	16
五	一	二	四	二	一	一	一	八	四〇	計

ソノ支那管内公学校児童女子性病検査成績

検査人数
計一三二〇

マツノ島本島ノ民カチ族腸内寄生虫ノ卵
 検査表 昭和六年十月一日現在

島民総人員數

内訳 男 三九〇五人
 女 一八四七人

被検査人員數 三六九三人

未検査人員數 三二二人

内訳 検査施行中死亡者數 六二人
 出稼者 男 一四五人 精神病者數 男 一人
 女 四人

島民腸内寄生虫ノ卵保有者數及其百分率

検査終了人員數	三六九三人	%
寄生虫ノ卵保有者數	三六五三人	九八九一%
蛔虫ノ卵保有者數	一、二二五人	三三、一六%
十二指腸虫ノ卵保有者數	一八六三人	五〇、四二%
鞭虫ノ卵保有者數	三六五三人	九八、九一%
蛭虫ノ卵保有者數	一一七人	三、一六%
廣節裂頭絲虫ノ卵保有者	一人	
横川氏吸虫ノ卵保有者數	四人	
寄生虫ノ卵無卵者數(無保有)	四〇人	

石島本島民力十族腸門寄生虫口卵検査成績表

検査員	被検査員	蛔虫卵	土指腸虫卵	鞭虫卵	蛭虫卵	横口吸虫卵	廣節刺衣頭線虫卵	無卵
一	一	二	九	一	一			
二	二	二	一	一	一			
三	三	八	六	五	二			
四	四	四	一	三	三			
五	五	七	四	三	二			
六	六	一	八	七	九	一		
七	七	二	三	五	六	二		
八	八	三	二	七	七	一		
九	九	四	二	五	六			
十	十	五	三	八	七			
十一	十一	八	三	九	一			
十二	十二	九	五	一	〇			
十三	十三	一	三	〇	〇			
十四	十四	三	五	一	〇			
十五	十五	三	五	一	〇			
十六	十六	三	五	一	〇			
計	計	三三三	一八二	三六五	一一七	四		
%	%	三三	一八	三六	一一	〇・一		

石島本島ノ民力ナク族癩患者數
 (昭和八年六月十日現在)

病型	計		備考
	男	女	
神經癩	二	二 (三)	(一) 丹八内
斑紋癩	二	六 (二)	數ニテ隔
斑紋神經癩	三 (三)	一 (二)	尚患者數
結節癩	〇	一 (二)	示ス
混合癩	四 (四)	二 (三)	
計	一一 (七)	一三 (五)	